



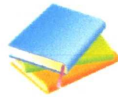
令和元年 7月

本の中に出てくる食べ物や食材が、7/5（金）の給食に登場します。

7/5の献立

★七タめん、七タ寒天  
笹かまぼこと竹輪揚げ  
野菜のアーモンド味、牛乳

紹介した本は  
学校図書館で展示中。  
借りられます！



七タめん → そうめん

## 『幸福トラベラー』

山本幸久/著 ポプラ社



主人公は葛飾区に住む中学2年生のこみのはるお小美濃春生くん。運動会の振替休日を利用して、新聞部の取材のため上野公園にやってきます。

上野公園で春生くんは修学旅行で単独行動をしている行方さんなめかたという女子中学生に出会い、行動をともにすることになります。

謎めいた彼女にふりまわされますが、両親の思い出の場所である上野には家族のイベントでよく来ている春生くん、彼女の行きたいところに次々案内していきます。実在する場所ばかりなので、少し前の上野公園を本当に歩いているような気分になります。

この作品に出てくる「そうめん」は上野こども遊園地（2016年に閉鎖）近くにある食堂の「カレーそうめん」。二人で半分にして食べます。食べた感想は二人とも「想像してたのとちがう」。これも実在のメニューなので、食べたことがある人もいるかもしれませんね。どんなものか気になる人はぜひ読んで確かめてください。

好きな本の話で盛り上がりながら、行方さんは少しずつ自分のことを話し始め、二人の気持ちは通じたかに思えますが…。お互いの名前しか知らない二人の、秘密の旅の結末は？ サプライズが待っていますよ。

## 七夕を楽しもう！

参照：『ポプラディア情報館 年中行事』ポプラ社



七夕はもともと古代中国の五節句のひとつです。節句は季節の変わり目で、この日を境に農作業が次の段階に入る節目として、神様にお祈りをしたりご馳走ちそうを食べたりした日だそうです。

日本では奈良時代に伝わって貴族の行事となり、木の葉に和歌を書いて竹竿につるし、芸事の上達を願いました。やがて江戸時代に入り世の中が落ち着き、子どもたちが読み書きを習う寺子屋がふえてくると、習字や習い事の上達を願う行事として庶民の間にも広まりました。短冊に願いごとを書いて笹に飾るのは江戸時代から続くスタイルのようです。

皆さんも七夕の行事を楽しんでみてはいかがでしょうか。短冊に願いごとを書くのはもちろん、七夕飾りを作ってみたり、簡単なデザートを作ってみたり。七夕といえば織姫おりひめと彦星ひこぼしの伝説が有名ですね。七夕の行事とどんな関係があるのか調べてみるのも面白いですよ。参考になる本を図書館の「美味しいお話」のコーナーに展示します。